

週報

福岡中央
ロータリークラブ

四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

「UNITE FOR GOOD」

2025-2026年度 国際ロータリー会長

Francesco Arezzo

Rotary



よいことの
ために
手を取りあおう

Rotary

「少しの成長から始まります
—1.01で成長、0.99で衰退—」

国際ロータリー第2700地区
2025-2026年度 ガバナー 濱野 良彦

「「PLUS」～少しの成長、そして確実な成長～」

2025-2026年度 福岡中央ロータリークラブ

会長 竹下 盛人 幹事 田中 明子

本日の例会 令和8年1月19日（第2135回）VOL.49 No.20

卓話

「私って誰」

米山記念奨学生 オレクシク, フランチスカ クリストーネさん

職業奉仕月間

- 今後の
例会予定
- 1月26日(月) 卓話 福岡中央ロータリークラブ 田中明子会員 ※会場は2階プレジール
 - 2月 2日(月) クラブ協議会「委員会半期報告」※会場は14階コンサバトリー
 - 2月 9日(月) 卓話 合同会社hammar's代表 浜崎正樹さん

「城山公園展望台から望む桜島」



多くの人に親しまれている城山公園からは、鹿児島を望む市街と錦江湾、その向こうに雄大な桜島を望む市街並みが変わり、訪れるたびに四季が調和し、鹿児島市に新しい発見があります。重松佳子

前週例会の記録(12月22日)

出席報告

前回例会 12月22日	前々回例会 12月14日
会員数 53名	会員数 53名
出席会員 45名	出席会員 27名
ビジター他 2名	修正 6名
合計 47名	免除 1名
出席率 84.91%	修正後出席率 63.46%

-来訪者内訳-

卓話 吉賀亜希子さん・坂本ゆかりさん 計2名

ロータリーソング

芦塚 日出美 ソング副委員長

・四つのテスト ・手に手つないで

会長の時間

竹下 盛人会長



今年も残すところ今日を入れて10日、実質仕事日は4日となりました。本日はこの1年の世相を言葉で振り返ってみたいと思います。まず、清水寺で発表された今年の漢字「一文字」です。「熊」が選ばされました。全国各地で熊の出没や被害が過去最多となり、日常生活に不安が広がりました。

又、忘れていいのはパンダも熊なんです。和歌山のテーマパークからジャイアントパンダ4頭が中国へ返還され、さらに上野動物園の双子のパンダ「シャオシャオ」と「レイレイ」もまた、来年1月下旬に返還されます。その日を最後に日本からパンダはいなくなります。そんな話題で「熊」が一番投票でした。ちなみに2位は「米」。熊の投票数が23,346票に対し、23,166票、わずか180票の差で明暗が分かれました。熊は人間と自然との距離、人と野生動物との共存への課題を広く象徴する一文字となりました。

次に「新語・流行語」です。

年間大賞は「働いて働いて働いて働いて働いて参ります。」これは高市早苗首相の、就任

スピーチで話題になりましたね。

更に、「SNS調査で印象に残った言葉」。

上位には、「エッホエッホ」「古古古米」「物価高」「ミャクミャク」「長袖をください」などが並び「トランプ関税」「緊急銃猟」「オールドメディア」「国宝(観た)」も選ばされました。

今年の言葉は大きく2つの系譜に分類されます。1.現実の不安・社会課題系、2.SNSカルチャー系の2つです。政治経済のリアルな課題とネット文化エンタメの軽やかな広がり方と、進化が共存したまさに「両極化の年」と言える2025年の言葉でした。

次に、「住友生命創作4文字熟語」から優秀作品をいくつか紹介したいと思います。

時代のトレンドや社会の出来事を巧みに表現しています。①最優秀作品は、「古米奮闘」(備蓄米、古古米を放出し食卓を支えた。お米がテーマです) ②「公維継承」(公明党から維新に連立相手が変わった、政治情勢を表現しています) ③「ミャク点満点」(大阪・関西万博の成功を祝っています)その他…。 ④「ド軍奮闘」(ドジャースの日本人選手の活躍に賞賛) ⑤「娯国宝盛」(国宝の大ヒットをお祝い) ⑥「教皇採決(5/8木)コンクラーベにて新ローマ教皇が誕生) など。

以上、今年最後の例会ということで、この1年を言葉で振り返ってみました。皆様にとってこの1年はどんな年でしたか?

それでは、迎える新年が、健康で幸多き年となられますことを、心より祈念し、今年最後の「会長の時間」と致します。

今年1年支えて頂き、本当に有難うございました。